

令和元年度第1回花巻市健康づくり推進協議会会議録

1 開催日時

令和元年8月27日（火） 午後1時30分～午後2時55分

2 開催場所

花巻市南万丁目970番地5

花巻保健センター1階 多目的ホール

3 出席者

(1) 委員 15名

三浦良雄委員(花巻市医師会・会長)、川村優子委員(花巻市保健推進委員協議会・会長)、柳原幸子委員(花巻農業協同組合・健康福祉部福祉課長)、後藤未央子委員(岩手県中部保健所・技術主幹兼保健課長)、多田建造委員(花巻市歯科医師会・副会長)、佐藤正昭委員(花巻市民生委員児童委員協議会・理事)、小田島克久委員(花巻市社会福祉協議会・事務局長)、坂本秀樹委員(花巻市薬剤師会・副会長)、佐藤ユウ委員(岩手県栄養士会県南地区・運営委員)、八木浩委員(花巻商工会議所・企画振興課長)、高橋幸一委員(花巻市スポーツ推進委員協議会・会長)、小瀬川ちはる委員(花巻市法人立保育所協議会・理事)、菊池幸江委員(花巻市立幼稚園協議会・理事)、高橋久美子委員(公募委員)、遠藤晴喜委員(公募委員)

(2) 市・事務局 9名

高橋健康福祉部長、阿部健康づくり課長、植田課長補佐、藤田課長補佐兼係長、富手課長補佐、瀬川主任主査兼係長、高橋係長、蟹澤係長、小綿係長

(3) 傍聴者 2名(県立大学看護学部実習生)

4 会議の概要

委嘱状交付

会議の冒頭、高橋健康福祉部長より委員15名に委嘱状を交付した。

委員及び職員紹介

富手課長補佐が委員及び職員の紹介を行った。

(1) 開会

富手課長補佐が、協議会の開会を行った。

(2) 挨拶

高橋健康福祉部長が挨拶を行った。

それでは、あらためまして本日は公私ともにお忙しい中、第1回健康づくり推進協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様方には日頃から花巻市の健康づくり事業に対しまして、ご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

先ほど、皆様に市長からの委嘱状をお渡しいたしました。皆様におかれましては、これから2年間、市の健康づくりのために建設的なご意見を頂戴したいと考えてございます。

この健康づくり推進協議会でございますが、健康づくりに関する活動を行ってございます関係機関・団体の役職の方と公募によります委員で構成されておりまして、今回は委員20名中、9名の方に新たに委員をお引き受けいただいております。どうぞよろしく願いたします。

そして、この会議でございますが、例年この時期につきましては、前年度の事業報告を行いまして、皆様のご意見をいただきながら来年度の事業の参考にさせていただいております。

また、当市が健康づくりの計画を策定するときにも、計画案についてご意見を頂戴することとしておりました。昨年度は花巻市自殺対策計画の策定をいたしまして、その際にはお集まりしていただきましたが、今年度につきましては計画の部分はないということでございます。

本日の会議は、先ほど申し上げましたように、平成30年度保健事業につきましてご報告をさせていただきますとともに、3月に開催いたしました協議会の方で説明させていただいておりますが、新たな委員さんもおられますことから、今年度の事業計画につきましてご説明を申し上げることとしてございますので、それぞれのお立場で花巻市の健康づくりの事業推進につきまして、どうぞご忌憚の無いご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会にあたりまして簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしく願いたします。

(3) 会長及び副会長の選任

富手課長補佐が会長及び副会長の選任方法を委員に諮ったところ、事務局案があるなら提案してほしいとの意見があり、会長に三浦良雄委員、副会長に川村優子委員をお願いしたい旨を提案し、出席委員から承認を得た。

三浦会長が挨拶を行った。

三浦です。よろしく願いたします。今日はお忙しいところお集まりいただきましてお疲れ様でございます。今日はいろいろな団体からお集まりいただいているのですが、その団体において健康づくりということでご協力いただいていることに感謝申し上げます。

いろいろな健康事業、それから自殺対策、健康増進に対してもみんな一緒に考えていただきたいと思っておりますのでよろしく願いたします。

(4) 協 議

三浦会長を議長として進行

三浦議長

会議に先立ちまして、「花巻市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき本会議を公開とすることにご異議ございませんか。

異議なしの声あり

三浦議長

異議なしということで、本会議は公開といたします。

(1) 平成30年度保健事業実施状況についてと(2) 平成31年度保健事業計画については関連するので一括して議題といたします。事務局より説明を求めます。

(1) を阿部課長が、(2) を植田課長補佐が別紙資料に基づき説明を行った。

三浦議長

ではここで、委員の皆様からご意見・ご質問を受けたいと思います。どなたか質問はございませんか。

すみません、私から。風しんの事業はいつまでの予定なんですか。期限なしですか。

藤田課長補佐

予防接種を担当しております藤田です。未接種の男性の風しんの予防接種で、31・32・33年末まで3年間の期限です。

高橋久美子委員

保健事業計画の7ページの救急医療確保事業についてですが、4番目の病院群輪番制運営事業と5番目の救急医療確保支援事業に総合花巻病院が書いてありますが、今、花巻病院が新しくできて、まもなくお入りになるかと思うんですが、医師の確保についてですね、というのは私が休日当番医で花巻病院に電話をしたところ、どういう症状ですかと聞かれて内科系ですとお話ししたら、今日は外科系の医師しかおりませんということでした。また、ある時に外科系のことで電話しましたら、今日は内科系の医師しかおりません、他の病院に行ってくださいということでした。やはり、医師が足りないことが原因かと思ひまして、医師の確保についてどのようになっているのかお聞きしたいです。

高橋健康福祉部長

その件は、私の方からお答えします。総合花巻病院は、来春からの移転ということで進めてございますが、今は現状維持での受診といいますか、運営を行っているということでござ

ます。今の花巻病院の先生方の人数なんですが、申し訳ありません、手持ちの資料がなくて詳細は申し上げられません。確か、今時点で11名の先生がおられるはずですが、移転後の花巻病院におきましては、今も医師確保については花巻病院で続けておられるわけですが、もう一人ぐらいなんとか確保できるかなという事は伺っております。受診の各科目につきましては、移転後と今の診療科では見直しを図っていて若干違ってございます。今のお話の輪番制につきましては、休日夜間の救急対応の部分であり、花巻病院では休日当番医は行っておりません。おられる先生は救急対応のために待機されていると考えられるため、日によってですね、専門科の先生が交替する可能性があるんだろうなと思います。花巻病院に関しては、それ以上の事は手持ち資料がないのでお答えできないですが、そういったような状況でございます。

高橋久美子委員

はい。花巻の中心の病院にして、医師がいないのでと断る状況がないように医師の確保について進めていただければと思います。以上です。

三浦議長

ありがとうございました。他に何か、ご質問・ご意見ございますか。

遠藤晴喜委員

私よくわからないのでお聞きします。特定健康診査、保健指導事業の部分で40歳から60歳までの受診率が30%に満たないということでもありますけども、これは会社員の方も対象に入っているのでしょうか。入っているのであれば、会社員の方は人間ドックを半強制的に受診させているところもあると思うんですが、そのへんはどういうふうなデータで30%となっているのか、お知らせください。

瀬川主任主査

ありがとうございます。健康診査を担当をしております瀬川と申します。この特定健康診査は保険者で実施することとなっておりますので、花巻市の場合は、対象が40歳から74歳までの国保加入者の方でございます。会社にお勤めの方はそれぞれの会社、または協会健保さんの方の受診率となって出てきております。市の国保加入者の中の受診についてでございます。

遠藤晴喜委員

わかりました。

三浦議長

はい。その他、ありませんか。なければ次に参りたいと思います。

それでは、(3)花巻市自殺対策計画の概要について議題といたします。事務局より説明

を求めます。

植田課長補佐が別紙資料に基づき説明を行った。

三浦議長

それでは委員の皆様からご質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんでしょうか。

多田建造委員

はい。ゲートキーパーですけれども、具体的には何名いて、実際どのようなことをするのか、役割ですね。

植田課長補佐

どんなことをするのかというのは、まずは自分自身が心の健康管理に気づくこと、身近な周りの方、あとは職場の方とかの異変に気付いていただいて、必要であれば専門職につなげるという役割であって、何かしなきゃないというのではなくて、普段の周りの方に気づきをお願いできればというものでございます。

多田建造委員

誰でもなり得るということですね。

三浦議長

はい。他に何かございますでしょうか。

高橋久美子委員

自殺の多い順で、1位が60歳以上の女性で無職で同居とあるんですが、これはいろんな人から聞いている話ですが、女性の場合は更年期障害があって、そういう年代になって、子供が巣立って、生きがい無くしてそういうふうになっていく人が多いんですけども、いろんな病院を歩いても数値に現れない症状なので、内科に行ってもなんともないと言われて、頭が痛かったり背中が痛かったりいろんな症状であちこち歩いたりして、最後に婦人科に行って更年期の症状ですねって言われて少しは良くなるが多くなって聞いているんです。やはり、そういう時は、家族の存在がすごく大きくて、家族が理解を示してくれば自殺までいかない例もあるのかなと思いますので、今のゲートキーパーのこともあるんですけど、家族の方にうつ症状の方がいたら見守るとか、専門の方につなげるとかそういう事を啓発していかないと、なかなか自殺がへらないのではないかと考えておりますので、ますますこういった計画をやっていただければと思います。

三浦議長

はい。他に何かございますでしょうか。

坂本秀樹委員

薬局ってということで、いろんな方とお話しするんですが、一人の方が市の非常勤職員にすごく助けられたと聞きまして。その人一人なんです、その人以外は市役所に来るんじゃないという感じの態度で、そういうつもりはないかもしれませんが、その人はそう思っちゃったんで、今後の課題、そういうふうには思われぬように対応できればいいのかなと思ったので、なんとかよろしくお願いします。

三浦議長

事務局で何かありますか。

植田課長補佐

先ほどの計画にもありましたが、職員の自殺予防対策会議もありますので、あとはゲートキーパー養成講座も行いますし、あとはその課題とか窓口を対応している全庁で集まってそういう会議もしていますので、その中でもっともっと周知していきたいと思います。ありがとうございました。

三浦議長

すみません、相談に行くときは何課に行けばいいのでしょうか。

植田課長補佐

その方の悩みがいろいろあると思いますので、経済的なこととか、健康のこととかで行く場所が違うと思いますけど、迷ったら健康づくり課で大丈夫ですのでよろしく申し上げます。

遠藤晴喜委員

データで1位2位3位はわかりましたが、一人暮らしの方はどれぐらいの割合でいるかわかりますか。把握していたら、教えてください。

植田課長補佐

手元にある資料は5位までしかありませんけれども、みんな同居ということで一人暮らしの方は入っていない状況です。

三浦議長

はい。他に何かございますでしょうか。

小田島克久委員

自殺対策プログラム推進の基本施策の1、地域におけるネットワークの強化ですが、行政内でどれぐらいこういう形で共有が図られているのかということと、自殺予防推進会議H29年度の実施1回とありますが、今年度開催する予定があるか、それから社会福祉協議会の事業で生活困窮者の自立支援で相談受けている中で、自殺をほのめかすような相談が結構あるんですが、そういう意味において、やはり情報共有を図りたい、または情報を知りたいといったことがたくさん出てきて、例えば、こういう行政が行うような会議の中での、会議がしたいということじゃなくて連携が図れるようなものがあればなと思っています。

植田課長補佐

29年度の1回という会議でしたけども、30年度には2回、計画策定ということもありまして開催しております。こちらの方からはメンタルに関する情報・自殺に関する情報を提供しているんですけども、あとはワーキングといいまして、困っていることがあればその場で話し合うという場も設定しておりますので、庁舎内での困りごとを共有しながら会議をやっています。あとは、個別的に心配なケースがあれば、関係職員が集まってケース検討会を個別で行っております。

三浦議長

ありがとうございます。時間もありますので、次に移りたいと思います。

(4) 健康増進法改正に係る対応について、事務局より説明を求めます。

(4) について、阿部課長が別紙資料に基づき説明を行った。

遠藤晴喜委員

禁煙の場所ですけども、私は総合体育館に行きますけども、非常に子供の大会とか何千人と集まる体育館ですが、全面禁煙にした方がいいと思いますので、ご検討いただければ助かります。

阿部課長

ご意見として承ります。いろんな体育施設、指定管理とかで外部委託しているものもございしますが、指定管理者と話をしながらご意見としてこちらの方は伝えていきたいと思えます。

三浦議長

はい。他にどなたかご質問、ご意見はございますでしょうか。

三浦議長

皆様からご意見がなければ、4の協議は終了いたします。

(4)の協議を終了し、議長は退席した。

(5)その他

富手課長補佐が、「その他」について委員に諮り、委員からは何もでなかった。

(6) 閉会

富手課長補佐が閉会を行った。